

わんにゃん通信

2018年
2月



年が明けてもう1ヶ月が経ちました。

月日が流れるのは早いですね。歳もとるはずです…。

さて今月は犬猫にとって危険な食べ物についてです。



ネギ類 (玉葱、長ネギ、ニラなど)

玉ねぎに含まれるアリルプロピルジスルファイドなどの成分が赤血球を破壊するため、溶血性貧血、ハイツ小体性貧血を起こす。量によっては死に至る事もある。玉葱を煮込んだスープなど、エキスが出ているものも危険です。



犬より猫の方が危険度が高い。

ペットに危険な食材としては有名ですが、致死量などはっきりしていない事も多い。

症状：胃腸障害、血尿、衰弱、心拍の増加

カカオ類 (チョコレート、ココアなど)



カカオの成分であるテオブロミンが中枢神経を刺激する毒素となる。テオブロミンとは、カカオの香り成分の1つ。カカオ含有量の高いビターチョコほど犬や猫には危険となる。ミルクチョコレートはカカオ含有量が低いため、症状は出にくい。

症状：不整脈、心拍の増加、口の渇き、過剰な活動、痙攣、発作、嘔吐など

レーズン、ブドウ

犬の症状：摂取後2~3時間後から嘔吐、下痢、腹痛、3~5日後に腎不全を起こす。

重度の場合は、腎不全から死亡するケースも報告されています。



マカデミアナッツ

症状：無気力、嘔吐、異常な高熱、筋硬直、ふるえ、心拍の増加
摂取後 12 時間以内に症状が現れ、12～48 時間続く。



キシリトール（甘味料の一種）



犬の症状：少量でも摂取すると血糖値が低下し、嘔吐、歩行困難、内出血、肝不全を発症する危険がある。
約 9 キロの犬の場合、2、3 枚のキシリトールガムで致命傷となりえるという報告もあります。

アルコール

症状：嘔吐、下痢、中枢神経系の抑制、ふるえ、昏睡
アシドーシス(意識障害、血圧低下、痙攣、呼吸障害)など



スルメ



症状：胃腸障害、元気が無くなるなど。
スルメは胃で水分を含み膨張します。10 倍以上に膨れる事もあるそうです。膨れたスルメは腸を通過する事が出来ず、また食道に詰まって吐く事も出来ずという、危険な状態になります。

**大事な家族を守るため、動物にとって危険な物は
手の届く所に置かないようにしましょう。**

担当：新名